

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0歳 1か月 2か月 3か月 4か月 5か月 6か月 7か月 8か月 9か月 10か月 11か月 1歳 1歳1か月 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 (満年齢)
不活化ワクチン B型肝炎 (母子感染予防を除く) 定期	□□□	0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5か月の間隔をあけて受けます。 1歳以上でも未接種の場合は、できるだけ早く受けることをおすすめします。(任意接種)
生ワクチン ロタウイルス (飲むワクチン) 定期	1価 □□ 5価 □□□	ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあります。 遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けます。
不活化ワクチン 小児用肺炎球菌 定期	□□□□	必要回数を接種するために生後2か月になったらすぐに同時接種で受けましょう。
不活化ワクチン 五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) 定期	□□□□	百日せきの感染予防の目的で三種混合ワクチンを1回受けます。(任意接種) WHOもこの時期の追加接種を推奨しています。
生ワクチン BCG 定期	□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
生ワクチン MR (麻しん風しん混合) 定期	□□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
生ワクチン 水痘 (みずぼうそう) 定期	□□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
生ワクチン おたふくかぜ 任意	□□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
不活化ワクチン 日本脳炎 定期	□□□□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
mRNAワクチン 新型コロナ 任意		海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
不活化ワクチン インフルエンザ 任意	毎秋	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
不活化ワクチン HPV(2価、4価、9価) (ヒトパピローマウイルス) 定期	□□□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
不活化ワクチン 髄膜炎菌 任意	□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)
渡航ワクチン	□	海外では4歳以上でポリオワクチンを受けるのが一般的です。(任意接種)

生ワクチン 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。
不活化ワクチン 任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。
mRNAワクチン 任意 任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

定期の予防接種の対象年齢
 任意接種の接種できる年齢
 おすすめ接種時期(数字は接種回数)
 添付文書に記載のないおすすめ接種時期
 (※) 添付文書に記載はないが、接種を推奨
 ●異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。
 国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/>

VPD

検索